

第26回

東京農大教育研究フォーラム

2024年8月24日(土)

13:30～17:00(開場12:30)

参加費
無料

お申し込み 締切: 7/12

右のQRコードより
お申し込みください<https://forms.office.com/r/py2tm5W8vX>

参加方法

対面(世田谷キャンパス) ・ オンライン(Zoom)

本フォーラムは、教育実習校及び本学校友会教員との結びつきを深め、大学からの新しい情報発信をするために始まり、今年で26回目を迎えます。今年度のテーマは「探究学習の導入・実践」です。21世紀型スキルを育む探究学習の重要性が高まる中、教育現場における導入・実践が喫緊の課題となっています。現役教員による講演と探究学習実践発表を通して、探究学習の導入・実践に向けた実践的な知識とスキルを修得します。

講演
01

探究学習の土台をたがやすこと

かえつ有明中学・高等学校 教諭 田中 理紗 氏

13:40～14:10

1号館 131教室

どんなに良質な探究も、その授業を受ける教室や生徒の状態、授業をする教員のマインドが整っていないとその良さが十分に発揮されないことがあります。反対にそれさえ整っていれば、どんなプログラムでも生徒の学びに繋がる可能性もあります。土台づくりから少しずつ一緒に始めてみませんか？

私立かえつ有明中・高等学校教員。9年の海外経験を持つ帰国生。同校オリジナル科目サイエンス科、プロジェクト科において、生徒のワクワク感を大切にしながら、思考力・表現力育成のためのスキルやマインドを育成するための授業を目指す。「ピア・フィードバック」新評論(2021)、「もし友だちがロボットだったら?:哲学する教室のつくりかた 30の授業プラン」晶文社(2023) 共同翻訳。

講演
02

『教え込めばできるようになる』は教師の妄想だ

学校法人東京農大 元参与 村上 修一 氏

14:20～14:40

1号館 131教室

「誰のための授業か」「能動的な学びとは」「どのような能力を身につけるのか」などの視点から、主体的、協働的な学びのあり方を「農大における研究室での学び」と併せて考える。教え込む授業では応用力の乏しい知識しか身につかない。学力を高めるための授業の場作りをいかに行うかが教師としての力量(授業力)ではないだろうか。

1973年東京農業大学農芸化学科を卒業後、農大副手、農大一高講師。一高講師の時代には日能研や複数の大学受験予備校の講師。1989年日能研の専任職員となる。理科教科長としてカリキュラムやテキストの作成、授業指導など日能研の中核を担う。2004年農大一中設立。午後入試や算理2科目入試、当日合格発表などを導入。トップレベルの進学校を目指し、今は偏差値70以上。



現役教員による

ワークショップ

6コースから最大3つまでご参加いただけます

14:50～17:00

1号館 2階

A 探究的な学びのつくり方

宝仙学園小学校 [小学校]
教諭 吉金 佳能 氏

小学校理科における、探究的な学びのつくり方について、事例を交えて解説します。

B 身近な疑問で探究を。

練馬区立開進第四中学校 [中学理科]
主幹教諭 上田 尊 氏

どうして?なぜ?が主体性の原動力。身近にあふれる知的好奇心を刺激し、探究へと誘います。

C 中学生対象の教科横断PBL

軽井沢風越学園 [中学技術・家庭]
教諭 山崎 恭平 氏

タネを題材とし技術・理科・数学を横断するプロジェクト学習の実践事例を紹介します。

D 金魚を用いた探究学習

東京農業大学第一高等学校 [高校理科]
教諭 川澄 太一 氏

金魚は、大いに生徒の興味関心を刺激します。発生・色素の研究などについて紹介します。

E 探究学習の導入・実践

埼玉県立いずみ高等学校 [高校農業]
教諭 田熊 重利 氏

農業科目「課題研究」を通しての探究学習の導入・実践について事例をあげて紹介します。

F 対話のモード

かえつ有明中学校・高等学校 [中学・高校]
教諭 田中 理紗 氏 [サイエンス科・プロジェクト科・外国語科]

教室でのコミュニケーションがより対話的になり、探究が深まっていくためのワークを体験しながら学びましょう。

主催: 東京農業大学 教職課程

共催: 全国教職員部会連絡協議会

後援: 東京農業大学 校友会

東京農業大学教育後援会

東京農業大学 教職課程 世田谷キャンパス 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 TEL 03-5477-2512 E-mail kyosyoku@nodai.ac.jp小田急線経堂駅より徒歩15分 または 東急田園都市線用賀駅よりバス10分 農大前下車 <https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/> (右記 QRコード)